

2019年度(平成31年度)「自ら考え学ぶ授業づくり」アクションプラン

〈学校用〉

校番(35)番 福山市立神辺東中学校

1 育成する力(21世紀型“スキル&倫理観”)

育成する21世紀型“スキル&倫理観”	問題解決能力	コミュニケーション力	意思決定
めざす子ども像(21世紀型“スキル&倫理観”を身に付けた児童生徒の姿)	習得すべき問題点を理解した上で、その解決方法を自分で考え、他者の意見を尊重し意見交流できる。	自分の根拠と他人の意見やメディアの情報に対して、批判的に聞いたり読んだりすることができる。	一つの目標に向かって自分の考えを持ち、他者の考えも受け入れながら柔軟に判断し、行動できる。

2 授業の現状

- ・対話的で深い学びにつながる発問の工夫ができていない。
- ・30%未満の生徒への手立てが十分でない。

転換

3 めざす授業の姿

教師は、単元を通して「課題発見・解決学習」を位置づけ、生徒の活動や反応を確認し、必要な手立てを打っている。生徒は、「なぜだろう」「やってみたい」という思いをもち、自らしっかり考え、考えたことをペアやグループの活動を通して、広げたり深めたりできるとともに、「分かったこと」「できたこと」が自分の言葉で説明できている。

4 めざす授業に向けた取組の具体

4月からの取組	8月末の状況	9月からの取組	12月末の状況	1月からの取組	2月末の状況
①生徒主体の学びになるよう教師が発問を工夫し、生徒に考えさせる時間を確保する。 ②30%未満の生徒への手立てとしてヒントカードを使うなどの工夫をした授業を行う。 (それぞれ肯定的評価80%以上)	教職員アンケートより、 ①「生徒が自ら考え学ぶ場面に授業の中に取り入れている。」の肯定的評価75.0% ②「生徒の多様な考えを引き出す発問の工夫をしている。」の肯定的評価87.5% ③「30%未満の生徒への手立てとしてヒントカードを使うなどの工夫をした授業を行う」の肯定的評価37.5%	①生徒主体の学びになるよう発問を工夫するとともに、教師が話さず、生徒の言語活動を充実させる。 ②30%未満の生徒への手立てとしてワークシートやヒントカード等の工夫を徹底する。	教職員アンケートより、 ①「生徒が自ら考え学ぶ場面に授業の中に取り入れている。」の肯定的評価は81.3%で、前回より6.3ポイント上昇した。 ②「30%未満の生徒への手立てとしてヒントカードを使うなどの工夫をした授業を行う」の肯定的評価は、81.3%で、前回より43.8%上昇した。	・「なぜ学ぶのか、それがどんなことにつながるのか」といった「学びの意味」を考えさせながら、授業を展開する。 ・生徒の主体的な学びにつながるよう協働的な学習の場면을意図的に設定する。	教職員アンケートより ①「生徒は、授業の中で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思う。」の肯定的評価が85.7%であり、生徒主体の学びに向けて改善されてきている。 ②30%未満の生徒への手立てとして、協働的な学習を通し、学び合い・教え合いの展開を多く取り入れることで、自分の意見を出し合い、考えを深めている場面が増えた。

5 取組の結果等

数値は2019年(H31年)調査等の状況

全国学力・学習状況調査(%) (児童生徒質問紙調査)(%) (肯定的評価)

		自分にはよいところがある	83.3
国語	65(-9)	先生はよいところを認めてくれる	89.8
算数(数学)	53(-7)	将来の夢や目標を持っている	76.9
英語	52(-4)	人の役に立つ人間になりたい	94.8

()は県平均との差

「基礎・基本」定着状況調査 (児童生徒質問紙調査)(%) (肯定的評価)

学校へ行くのは楽しい	81.5
「やりなさい」と言われなくても、自分から進んで勉強をしている	67.7
授業では、課題について、「なぜだろう」「やってみたい」と思う	75.4
授業では、友だちと話し合うなどし、考えを深めたり広げたりしている	72.3

暴力行為発生率・不登校児童出現率 (%) (2)月末現在

暴力行為	0.4	不登校	2.5
------	-----	-----	-----

体力づくり改善計画【広島県体力・運動能力調査から】

県平均以上項目数	前回目標値に対する結果	重点課題	改善する取組内容・方法
(男子) 15/24	・男女とも柔軟性に課題があったが今年度は男女とも長座体前屈は県平均値を上回ることが出来た。	・男子は持久力、瞬発力が全学年県平均値を下回っている。	・持久力は男女ともどの単元でも運動量の確保をし、活動の中で運動量を増やしていくことで持久力向上につなげる。
(女子) 18/24	・男女とも昨年度に引き続き瞬発力に課題が残った。	・女子は持久力が3学年中2学年が県平均値を下回っている。	・今年度の体力テストの結果を基に各生徒がそれぞれ来年度の体力テストの目標値を設定し、どのようにからだ作り運動に取り組むか考えさせる。
目標値	・男女ともに50m走,20mシャトルランの記録を県平均以上にする。 ・A,B率を55%以上にする。		

福山100NEN教育アンケート[対象:授業者](%)

質問項目	当てはまる	当てはまらない
仕事にやりがいを感じている	85.7	14.3
仕事に充実感がある	85.7	14.3

児童生徒アンケート(%)

(12)月実施

質問項目	当てはまる	当てはまらない
授業で考えることが面白い	85.3	14.7
自分の考えは、認められている	76.0	24.0